

事業計画書

令和7年1月の一部報道にて、令和6年中における老人福祉・介護事業者の倒産が、過去最多の172件に及ぶと伝えられました。

このような事態は、令和6年度の介護報酬のマイナス改定や物価、光熱水費、燃料費等の高騰、最低賃金引き上げによる人件費の増加により、運営が厳しくなったと考えられます。

当法人施設においても、運営状況は厳しく、令和5年度より特別養護老人ホームにおいては、介護職員の退職による人員不足のため入所控えにより、介護報酬が減少し、令和7年度まで町の助成を受け経営改善を図ることとしております。

令和7年度においても養護・特別養護老人ホームとも、燃料、食糧費など諸物価の上昇、収入面では介護職員の不足による入所控えから収入減少が懸念され、運営面においてさらに厳しさが増してきており、介護職員の補充を進め、収支の改善を図るため利用者の欠員解消を進め、経営安定を目指してまいります。

行事などの事業については、以前の状況に戻りつつありますが、見直しを行うなど、可能な限りサービスの提供に努めて参ります。

1 事業計画

法人は、次の事項等によって事業を推進していきます。

(1) 運営する事業及び運営方針

ア、養護老人ホームの運営

① 養護老人ホームちのみの郷

老人福祉法及び法人の掲げた理念に基づき、またはそれに添った運営を行い、利用者様が健康で明るく生きがいのある生活ができるよう努めます。

② 養護老人ホームちのみの郷指定特定施設入居者生活介護事業

身体介護又は生活援助のサービスが必要になった利用者様の意向を尊重したサービス計画を立て、それに基づき、日常生活における必要なサービスを提供してまいります。

③ 利用者様の確保

前年度は、退所者の後の補充に入所希望申請者へ入所希望を問い合わせましたが入所に至らず、多くの空室を生じており、契約入所も含めて空室解消に努め、収支の改善を図ってまいります。

④ 職員の確保

空床は介護職員の欠員補充が改善されないことも一因としてあり、サービス提供の維持の必要性から、公募以外の活用も図ります。

④ 施設設備の改修計画

平成8年の改築からの経年とともに施設設備の老朽化が進行しているが、自然災害時における付帯設備の損傷が見込まれ、最低限の日常生活に影響を及ぼす設備の改善を検討してまいります。

イ、特別養護老人ホームの運営

① 特別養護老人ホームちのみの杜

施設利用者様の人格や意思を尊重し、介護福祉の立場に立ったサービスの提供を行い、日常生活が十分に満足していただけるように努めてまいりますとともに、感染症対策を徹底し感染予防に努めます。

② ちのみの杜短期入所生活介護事業

利用者様に対し、日常生活が営められるよう、身体介護や生活援助等を行い、利用者様の心身機能の維持並びに御家族の負担の軽減が図れるよう努めるとともに関係各機関との連携、推進にも配慮してまいります。

③ 大変厳しい経営環境にあるなか、令和7年度に置きましても引き続き運営改善に、努めて参ります。

取組としては

○人材確保のために

- ・ハローワーク等の公的機関での求人説明会の継続実施
- ・福祉系専門学校等の訪問により採用につなげる
- ・ホームページに求人情報の掲載
- ・外国人採用の早期実施に向け、環境を整える

○安定収入を図る稼働率の向上のために

- ・常に入所予定者を確保し、空所時に速やかに新入所者の受入に努める
- ・利用者様の体調変化を把握し、早急な対応を図ることにより入院者の減少を図っていく
- ・入退院の調整を円滑に進めるために、病院と密な連携をとる
- ・感染症対策の強化に努める

○運営支援の継続について

コロナウィルス感染症の発生に伴う入所者減や退職に伴う職員減に対応するため、浦河町より空所分介護報酬と固定経費補助を、令和5年度より緊急的に補填していただいてまいりましたが、令和7年度に終了することに伴い、より一層、経営の困難が予想されることから、恒久的運営支援を浦河町に要望してまいります。

(2) 施設等の入所・利用定員

ア、養護老人ホーム

- | | | | |
|---------------------------------|-----|---------|----|
| ① 養護老人ホームちのみの郷 | 75名 | ショートステイ | 2名 |
| ② 内養護老人ホームちのみの郷指定特定施設入居者生活介護事業所 | 34名 | | |

イ、特別養護老人ホーム

- | | |
|--------------------|-----|
| ① 特別養護老人ホームちのみの杜 | 50名 |
| ② ちのみの杜短期入所生活介護事業所 | 8名 |

(3) 施設等の職員の職種・職名及び数

	養護老人ホーム					特別養護老人ホーム					合 計				
	常勤		非常勤	派遣	計	常勤		非常勤	派遣	計	常勤		非常勤	派遣	計
	正 規	嘱 託				正 規	嘱 託				正 規	嘱 託			
施設長		1			1		1			1		2			2
事務長		1			1		1			1		2			2
事務員		1			1		1			1		2			2
生活相談員	3				3	1				1	4				4
介護支援専門員	1				1	1				1	2				2
栄養士	1				1	1				1	2				2
看護職員	3				3			1	2	3	3		1	2	6
介護・支援員	11		5		16	9	5	4		18	20	5	9		34
介助員			3		3		1			1		1	3		4
調理員		6	2		8		6			6		12	2		14
用務員		1			1		1			1		2			2
計	19	10	10		39	12	16	5	2	35	31	26	15	2	74

※数は、4月1日の職員数となります。

(4) 利用者様の生活相談・支援

- ① 利用者様の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、利用者様又は家族に対し、適切な相談、助言を行うとともに、必要な支援を今後も行っていく予定です。
- ② 養護老人ホームにおいては、利用者様がお互いにいたわり合い、他人に迷惑をかけないなど、思いやりのある人間関係で楽しく充実した生活ができるよう支援します。

また、特別養護老人ホームでは、利用者様がお互いに尊重しあい、毎日が元気で明るく生活できる環境作りを職員一同、誠意を持って努めてまいります。

- ③ 「自分で出来ることは自分でする。」を生活の基本に、利用者様の適正に応じたクラブ・行事等への参加を促し、融和をはかりながら生きがいを支援します。

(5) 健康管理

- ① 養護老人ホームは健康維持の増進として毎朝のラジオ体操、その後の軽い歩行訓練の実施、更にボデイケア・リハビリ体操の継続をしていきます。

特別養護老人ホームにおいても、健康維持の増進に努めるとともに、感染症予防対策を充実してまいります。

- ② 週一回の日赤病院医師による往診、毎月の血圧・体重測定、養護老人ホームにお

いては年二回の健康診断の実施を行い、利用者様の健康管理を図っていきます。

- ③ うがい・手洗いの励行、毎日の施設内の換気・消毒の実施、希望者にはインフルエンザ等の予防接種、更に入浴・洗濯・清掃など衛生面などに配慮した援助を行い、感染症等の予防に努めていきます。

(6) 施設等の行事

① 主要行事等（家族へ出欠の周知）

- ・観桜会（5月） 家族会総会の後に行います。
- ・夏まつり（8月） 午後、縁日などで楽しめます。
- ・敬老会（9月） 式典・祝賀会
 - 100歳記念品 法人、家族会
 - 白寿記念品 法人
 - 米寿記念品 浦河町
 - 喜寿記念品 浦河町

※ その他、新年会なども計画されています。

② 季節に応じた行事

- ・桜、紅葉見学 ・盆、彼岸供養会（年3回） ・かき氷の会 ・豆まき
- ・ひな祭り など

③ 定期または2ヶ月毎の行事

- ・ショッピング ・大相撲星とり大会 ・ビデオ鑑賞会
- ・クラブ活動（ゲーム、手芸、カラオケなど） など

④ 毎月の行事

- ・誕生会 ・散髪・美容室 など

⑤ 慰問等の行事

- ・町民吹奏楽団 ・幼稚園 ・老人クラブ ・民謡、踊りなど

⑥ 会議に関する行事

○入所者関係

- ・生活懇談会（毎月）

○施設等関係

- ・年4回 ・全体会議（研修会）
- ・毎月 ・感染症対策委員会 ・身体拘束委員会 ・施設運営会議
- ・入所者処遇会議 ・事故発生防止対策委員 ・給食運営会議
- ・給食会議

※②～⑥までは養護老人ホーム又は特別養護老人ホームそれぞれに行っているもの
行っていないものがあります。

(7) 防災計画

- ・避難訓練（火災 年2回、自然災害 年2回）

(8) 職員研修

職種別研修会・講習会などへ参加し、職場研修にも取り組んでいきます。

職種別研修会・講習会などへ参加し、職場研修にも取り組んでいきます。

2 役員運営

(1) 役員の数

理事	7名
評議員	8名
監事	2名

(2) 理事会・評議員会の開催計画

- ・3月下旬 新年度の事業報告書及び収支予算書の審議
- ・6月上旬 前年度の事業報告書及び収支決算書の審議
- ・その他 懸案事項等必要に応じて随時開催

(3) 監事監査の開催計画

- ・定例監査 年3回 8月、11月、2月
- ・決算監査 5月中旬

3 予算の執行

令和7年度の事業の運営（法人本部は除く）は、次によって行います。

・事業活動収支

（単位：千円）

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
収入	491,835	16,677	261,015	3,545	230,820	13,132
支出	513,989	34,605	276,687	26,464	237,302	8,141
収支差額	△22,154	△17,928	△15,672	△22,919	△3,482	4,991

・施設整備等収支

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
収入	950	220	600	220	350	0
支出	2,336	76	1,566	76	770	0
収支差額	△1,386	144	△966	144	△420	0

・その他の活動収支

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
収入		△18,000		△8,000		△10,000
支出	11,281	△7,499	3,031	651	8,250	△8,150
収支差額	△11,281	△10,501	△3,031	△8,651	△8,250	△1,850

・当期資金収支差額

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
	△34,821	△28,285	△19,669	△31,426	△15,152	3,141

・前期末支払資金残高

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
	52,684	25,688	23,608	15,586	29,076	10,102

・当期末支払資金残高

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
	17,863	△2,597	3,939	△15,840	13,924	13,243

※法人本部の部分は含まれていません。

以上の予算を以って執行いたします。

内訳等は、予算書のとおりとなっています。

資金収支予算書

(自) 令和 7年 4月 1日 (至) 令和 8年 3月31日

社会福祉法人 浦河愛生会

(単位:千円)

勘定科目		本年予算額 (A)	前年予算額 (B)	差 異 (A)-(B)	備 考
事業活動による収支	収入				
	経常経費補助金収入	7,000	15,000	△ 8,000	
	介護保険事業収入	307,400	283,820	23,580	
	老人福祉事業収入	167,815	165,370	2,445	
	経常経費寄附金収入	200	200		
	借入金利息補助金収入				
	受取利息配当金収入				
	その他の収入	9,420	10,768	△ 1,348	
	事業活動収入 計 (1)	491,835	475,158	16,677	
	支出				
事業活動による収支	人件費支出	347,378	308,993	38,385	
	事業費支出	128,918	126,869	2,049	
	事務費支出	39,147	45,073	△ 5,926	
	支払利息支出	1,080	738	342	
	事業活動支出 計 (2)	516,523	481,673	34,850	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 24,688	△ 6,515	△ 18,173	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	950	730	220	
	施設整備等寄附金収入				
	施設整備等収入 計 (4)	950	730	220	
	支出				
	固定資産取得支出	1,606	1,530	76	
	固定資産除却・廃棄支出				
施設整備等による収支	ファイナンス・リース債務の返済支出	730	730		
	施設整備等支出 計 (5)	2,336	2,260	76	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,386	△ 1,530	144	
その他の活動による収支	収入				
	長期運営資金借入金収入		10,000	△ 10,000	
	積立資産取崩収入				
	その他の活動収入 計 (7)		10,000	△ 10,000	
	支出				
	長期運営資金借入金元金償還支出	8,581	8,580	1	
	積立資産支出	200	200		
その他の活動による収支	その他の活動支出 計 (8)	8,781	8,780	1	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 8,781	1,220	△ 10,001	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		△ 34,855	△ 8,825	△ 28,030	
前期末支払資金残高 (11)		52,884	27,354	25,530	
当期末支払資金残高 (10)+(11)		18,029	20,529	△ 2,500	

社会福祉事業区分 資金収支予算内訳表

(自) 令和 7年 4月 1日 (至) 令和 8年 3月31日

社会福祉法人 浦河愛生会

(単位:千円)

勘 定 科 目		法人本部 拠 点	養護老人 ホームちの みの郷拠点	特別養護老 人ホームちの みの杜拠点	合 計	内部取引 消去	事業区分 合計	
事業活動による収支	収 入	經常経費補助金収入		7,000	7,000		7,000	
		介護保険事業収入		92,540	214,860	307,400		307,400
		老人福祉事業収入		167,815		167,815		167,815
		經常経費寄附金収入		100	100	200		200
		借入金利息補助金収入						
		受取利息配当金収入						
		その他の収入		110	8,860	8,970		8,970
	事業活動収入 計 (1)			260,565	230,820	491,385		491,385
	支 出	人件費支出	725	179,073	167,580	347,378		347,378
		事業費支出		77,772	50,696	128,468		128,468
		事務費支出	1,809	19,032	18,306	39,147		39,147
		支払利息支出		360	720	1,080		1,080
		事業活動支出 計 (2)	2,534	276,237	237,302	516,073		516,073
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 2,534	△ 15,672	△ 6,482	△ 24,688		△ 24,688	
施設整備等による収支	収 入	施設整備等補助金収入		600	350	950		950
		施設整備等寄附金収入						
		施設整備等収入 計 (4)		600	350	950		950
	支 出	固定資産取得支出		836	770	1,606		1,606
		固定資産除却・廃棄支出						
		ファイナンス・リース債務の返済支出		730		730		730
		施設整備等支出 計 (5)		1,566	770	2,336		2,336
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			△ 966	△ 420	△ 1,386		△ 1,386
その他の活動による収支	収 入	長期運営資金借入金収入						
		積立資産取崩収入						
		拠点区分間長期借入金収入						
		拠点区分間長期貸付金回収収入						
		拠点区分間繰入金収入	2,500			2,500	2,500	
	その他の活動収入 計 (7)		2,500			2,500	2,500	
	支 出	長期運営資金借入金元金償還支出		1,431	7,150	8,581		8,581
		積立資産支出		100	100	200		200
		拠点区分間長期借入金返済支出						
		拠点区分間長期貸付金支出						
		拠点区分間繰入金支出		1,500	1,000	2,500	2,500	
		その他の活動支出 計 (8)		3,031	8,250	11,281	2,500	8,781
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		2,500	△ 3,031	△ 8,250	△ 8,781		△ 8,781	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		△ 34	△ 19,669	△ 15,152	△ 34,855		△ 34,855	
前期末支払資金残高 (11)		200	23,608	29,076	52,884		52,884	
当期末支払資金残高 (10)+(11)		166	3,939	13,924	18,029		18,029	